

日本技術士会 神奈川県支部（MIX 技術士交流会第 18 回 C P D 対応）実施報告（H P 用）

開 催 日	2026 年 5 月 30 日（土）
開 催 時 間	14:00 ～ 16:50
名 称	第 18 回 M I X 技術士交流会
主 催 後 援	主催：日本技術士会 神奈川県支部
開 催 場 所	見学会：NHK 放送博物館（東京都港区愛宕 2-1-1） 討論会：機械振興会館（東京都港区芝公園 3-5-8）
行 事 内 容	見学会・討論会
参 加 人 数	13 名

I. 【見学会】 NHK 放送博物館 14:00～15:00

案内者 宮永 圭介 氏 NHK 技術局 システムソリューションセンター
企画・新センターグループ チーフエンジニア
技術士（電気電子部門、総合技術監理部門）

（展示物と解説）

- ・NHK 放送博物館の所在地は、東京 23 区の自然地形として最も標高の高い愛宕山で、ラジオ本放送を開始した東京放送局の跡地である。
- ・アナウンサーのメモ：オリンピックの実況放送を行うアナウンサーは、事前に各選手のエピソードなどを詳細に記しており、入念な準備の上で本番の放送に臨んでいる。
- ・玉音放送が録音されたレコード：時代の大きな転換点を示す貴重な資料として将来に渡り保存するため、5℃恒温の窒素ガスを封入した容器に格納されている。
- ・衛星放送技術：国をまたぐ同時中継設備が整い、日米間で初の衛星中継番組の実験放送当日にアメリカから日本に最初に飛び込んで来たのがケネディ大統領の暗殺事件の一報であった。
- ・NHKの防災対応：いつ発生するか分からない大地震やそれに伴う津波災害から人々が安全に避難できるよう、全国の放送局で定期的な訓練を行っている。
- ・2025 年 3 月に放送開始から 100 年を迎えた NHK では、インターネット上で不確かな情報が溢れる中、正しい情報をいかに伝えるかという課題に対し、正確で信頼できる社会の基本的な情報を提供することが大事と考えている。

II. 【討論会】 機械振興会館 15:20～16:50

テーマ：「A I 時代の放送と技術士」

A 班・B 班に分かれて討議を行った。AI 時代における放送のあり方に関する課題を整理し、技術士としての立場からの解決策をブレインストーミング形式で検討した。

両班とも共通に A I の発展に伴い、真偽の判別が難しいフェイクニュースの課題が指摘され、その解決策として高度の専門性と倫理意識をもった技術士が正しい情報を発信することや、情報の受け手側（年少者）に対し情報リテラシーを高めるよう技術士がその教育に関与していくことが解決の一方法になると提起がなされた。



博物館での展示の説明



討論会